



第 97 号

令和 4 年 10 月 発行

放送大学
鹿児島学習センター

〒 892-8790 鹿児島市山下町 14 番 50 号

☎ (099) 239 - 3811

FAX (099) 239 - 3841

E-mail kagoshima46@ouj.ac.jp



「超一級の歴史史料の編集に携わって思うこと」



志学館大学人間関係学部教授

茶 谷 誠 一

現在、初代宮内庁長官を務めた田島道治の関係文書を編集し、出版化する作業に従事しています。なかでも田島が昭和天皇と会って話した詳細な記録である「拝謁記」は、2019年夏にNHKのニュースや特番で放送されたことで、一躍脚光を浴びました（現在、『昭和天皇拝謁記』全五巻として岩波書店より刊行中）。

「拝謁記」を中心とする田島道治の関係文書は、もともとNHKの番組制作の過程で知人のジャーナリトが田島家の遺族の許を訪ねてその存在を確認し、私や数人の研究者が解読にあたって上記のNHKの番組で明らかにされてきました。

昭和天皇に関する代表的な史料としては、『文藝春秋』1990年12月号で紹介された「昭和天皇独白録」や2014年に公開された宮内庁編修の「昭和天皇実録」などがあります。今回、新たに発見、公開された「拝謁記」はこれら既刊の史料と比較しても、質量ともに圧倒するほどの歴史的価値を有しているといっても過言ではありません。具体的には、「昭和天皇独白録」でも天皇が過去に起きた事件や戦争への回想、政治家、軍人らへの人物評などを語っていますが、限定的な言及にとどまっています。また、「昭和天皇実録」は宮内庁が昭和天皇の事績を後世に残すためにまとめた公的記録であり、天皇自身の言葉や感情面の記述は控えられています。ところが、「拝謁記」は宮内庁長官たる田島が天皇の発言を詳細に筆記し、時に天皇の喜怒哀楽を含めた感情をも書き記すとともに、田島自身の所

感や思いもところどころに表記しています。

天皇の語る発言内容は、過去の重大事件、戦争、政治外交など歴史認識に関わる話のほか、政治家や軍人、官僚に対する人物評、両親や兄弟、子どもたちといった家族への思い、そして何より、戦後の象徴天皇観や日本の安全保障論など、さまざまなテーマにわたっています。近現代史分野のなかで昭和天皇の言葉や感情をここまではっきりと記した史料は前例がありません。

さて、ここまで「拝謁記」がいかに重要な歴史史料であるかを述べてきましたが、天皇制を主要な研究テーマとしてきた私は、同時に大きな問題点も感じています。今回の「拝謁記」を始めとする田島道治の関係文書はあくまで田島家が所蔵してきた私文書であり、田島家の同意とご厚意により公開、出版化に至りました。近現代史分野ではこのようなケースが多く、政府各機関や宮内庁といった公的機関が所有する公文書から重要な歴史史料が公開される機会が極めて稀な現状にあります。同じ君主制をいただくイギリスでは、歴代国王や王族の日記や書翰など王室関係の文書はウィンザー城内にある王室文書館に保管され、行政文書に準じた扱いで公開もされています。イギリス王室の史料管理状況は、侍従や側近が公的な業務内容を記した記録なども「お手元文書」とされ、原則非公開の扱いを受けている日本とは対照的です。日本でもイギリスと同じ程度に皇室関係文書の公開が進めば、天皇制研究が一層促進されるはずであり、そうなることを期待してやみません。

ご卒業・ご入学おめでとうございます！

令和4年度第1学期卒業証書・学位記授与式

令和4年9月25日（日）かごしま県民交流センター中ホールにて「令和4年度第1学期卒業証書・学位記授与式」を開催いたしました。今回卒業となる45名のうち15名が出席しました。高津所長から卒業生一人一人に卒業証書・学位記が授与され、うち2名に鹿児島学習センター特別賞が授与されました。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、式典出席者の健康と安全確保の観点から、卒業生と学習センター職員のみで執り行いました。

なお、「令和4年度第2学期入学者の集い」は、9月24日（土）オンラインにて開催いたしました。

卒業生名簿

教養学部 (計45名)

生活と福祉コース

東江 望 岩戸 真希 岩元 佳未 植村 佑介 北野 浩子
 桑畑 利果 谷川 初子 中馬 敦志 中村 健司 中村 実沙穂
 二間瀬 秀子 益山 恵美子 山田 亜弓 山田 初江 他1名

心理と教育コース

有村 愛 池増 雅 上野 幸一 貴島 浩子 児玉 尚子
 迫田 幸夫 佐々木 カヨ子 平 浩樹 俵積田 知里 原口 将司
 原田 紗由里 他1名

社会と産業コース

五反 健二 下拂 一弘 田中 裕介 手塚 研正 富吉 正治
 他1名

人間と文化コース

奈良 千代子 峰元 義人 宮原 清志 村上 京子 他1名

情報コース

川邊 隆光 齊藤 國久 原田 ゆう子 外蘭 広巳 宮路 拓人

自然と環境コース

細木 實 榎 満信

令和4年度第1学期末で鹿児島学習センターからの卒業生、修了生の合計は以下のとおりです。今後とも鹿児島学習センターをよろしくお願いいたします。

卒業生：1,840名 修了生：52名



祝 令和4年度 第1学期 放送大学教養学部 卒業記念 (2022.9.25)



卒業生代表

○教養学部 全科履修生 心理と教育コース
池 増 雅

私が放送大学に入学したのは2017年の春、高校卒業の年でした。

きっかけは、進路に悩む私に母が言った「やりたいことが分からないなら勉強を続ければいい、やりたい事が出来た時に何にでも挑戦出来るように準備したらいい」という言葉です。私は、過去に人付き合いが苦手で不登校の時期が数年あり周りの人に心配ばかり掛けていました。そんな時に家族をはじめ沢山の先生・カウンセラーの方などに私の勉強をサポートしていただいたおかげで無事高校へ進学することが出来ました。そんな事もあり放送大学の心理と教育コースに興味を持ち入学することに決めました。

私は、入学者の集いで他の学生を見て大変驚きました。自分より年上の方々が多かったからです。何歳からでも始められ、何歳になっても学ぶことがあるのだと感じました。普段は一人で勉強をしているので、試験会場での大勢で試験を受けている雰囲気、そして先輩方がスラスラと鉛筆を滑らす様子が私にはとても印象的でした。近年は、コロナ禍でWeb試験になり、センターに行かなくても試験を受けられるようになりましたが、私は試験を受けに行く緊張感も、終わった後に自己採点しながら家に帰るのも今思うと楽しかったです。心理学では色々な人・考え方があることを学ぶ事が出来ました。放送大学の自分で選べるシステムが私にはとても合っていたのだと思います。今日までご指導・ご支援して頂いた諸先生方、鹿児島学習センターの職員の皆様、5年間本当にお世話になりました。



入学者代表

○教養学部 全科履修生 人間と文化コース
渡 純 真

私は高校卒業後、1年半の間「漂流」していました。高校時代はお世辞にも良い学生生活とは言えなかったため、平凡ながらも、「平穏な小舟」に乗って「漂流」していました。精神的には平穏でしたが、惰性的な日常だったと感じています。

個人的に適性があると感じたような業種・職種のひとつが大卒以上の学歴が必要で、私にとって学士号は必須でした。このとき既に1年以上「漂流」してしまっており、また周囲の目を過剰に気にしてしまう性分ゆえ、通学制は長続きしないだろうと考えた私は、通信制で全国的に同水準の教育が提供されており、引越しなどの場合も比較的容易に手続きができるという理由で、このたび放送大学に入学することになりました。かねてから大学進学を強く希望していたので、ようやく実現できたという思いです。

コースの選択にあたっては人間と文化コースと社会と産業コースとで迷いましたが、最終的に人間と文化コースに所属することにしました。政治学や法学、社会学などにも関心がありましたが、関心の核は人文科学だったからです。無論、全科履修生は他コース開設科目の修得が必須であるため、隣接する分野を中心に十分に履修して、人文科学および距離の近い分野の単位も修得できるように目指したいと思います。

「平穏な小舟」で「漂流」していても、人間としての成長は期待できません。たとえ茨の道でも学問の島に旗を立てる心意気で、初心と学問の本質から外れないように肝に銘じて参ります。

最後に入学者代表として、入学者の総意であろう「知の探究」に力を尽くすことをこの場に代えて誓い、締めさせていただきます。





名誉学生が誕生しました



放送大学では、教養学部の全コース（又は専攻）を卒業した方で、人物、学習態度が良好であると認められる学生に対し「放送大学名誉学生」の称号を付与しています。この度、2名の卒業生が全6コースを終えられ、名誉学生の称号を授与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。鹿児島学習センター所属の名誉学生は今回で4名となりました。

「初志貫徹」を達成して

名誉学生 齊藤 國久

私は、平成10年度の秋、放送大学への入学の許可を賜わり、令和4年度第1学期を以て所定の単位を修得し、先般「卒業」の認定を戴きました。本件をもって20年余の歳月を経て、放送大学の開設するカリキュラム全コースを踏破することができました。これは自分一人の努力だけでなく、放送大学の先生方はじめ、親身になってパソコン習熟の指導をして下さった学習センターの職員のおかげがあつてのことで、只々感謝の他ありません。「初志貫徹」の美酒は、家族がささやかに祝ってくれました。



顧みると平成25年度のカリキュラム改正で、新たに「情報コース」が設定され、「情報コース」を最後に履修することで、都合7コース（専攻）の履修を完了できました。

在学中は放送大学から送付される各種「お知らせ」を、魂を入れて吟味していなかったことが原因で修学に支障をきたしたこともありました。以後、私は若手学生さんにも、放送大学から送付される書籍、文書類は、必ず精読をして必要な箇所は使用中のノート空白を活用しメモをすることを勧めています。

放送大学で学んで感じたことは、学生として、勉学に励むことはもちろん、学問のプロともいえる客員教授の先生方と膝をまじえて談笑してみることも必要であるということです。本学は、通信制大学としては、他よりも優れていると私は自負しています。

最後に鹿児島学習センターは講義室は勿論、視聴覚教材等最新の設備、資材が整っており、学生にとっては、恵まれた教育環境と言えます。コロナ禍の現況下ではありますが、今後の学生増に微力ながらも支援を惜しまないことを銘記いたします。

名誉学生の称号を授与して

名誉学生 迫田 幸夫

この度、卒業にあたり大きな称号をいただき、身に余る光栄を感じています。ご支援いただきました関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。私にとりましては、これまでの学生生活を振り返る良い機会となりました。

さて、私と放送大学との関わりは、平成16年2月に鹿児島学習センターの存在を知り、同年4月選科履修生として入学したことに始まります。ここで通信による学習をはじめて体験し、その後、全科履修生として入学しました。



専攻は職業経験等をもとに「産業と技術」を選びましたが、講義の理解は容易ではなく「わからないこと」「知らなかったこと」なども多く迷いながらもなんとかそれを乗り越えて、エキスパート「経営の理解」も取得できました。その後「社会と産業コース」などへの再入学と卒業を重ね、全7コース（専攻）の修了を完了できました。

私の学習方法は、とにかく「読むことと要点や単語のメモ」の2つです。

人生100年時代です。私はボツボツですが学びを続けるために、本年10月からさらに修士選科生となりました。皆さん、お互いにガンバリましょう。

第2学期単位認定試験までのスケジュール

新学期がはじまりました。第2学期の学習スケジュールは下記のとおりです。単位修得を目指して頑張りましょう。

10月

放送授業開始

【放送授業開始日】：10月1日（土）から始まりました。

テレビ、ラジオ科目の全15回の放送授業がはじまります。インターネット（システム WAKABA）から「放送授業のインターネット配信」により視聴もできます。

《オンライン授業を履修されている方》

必ず履修登録した科目のページにアクセスし、課題の内容や提出期限をチェックしましょう。



11月

通信指導の提出

学期途中に1回一定の範囲で出題される課題問題です。通信指導を提出し忘れてしまうと、**単位認定試験の受験資格が得られませんので必ず期限までに提出しましょう**

【送付時期】：8月下旬～11月上旬（一部科目を除き、印刷教材と一緒に送付されます。）

【提出期間】

Web 通信指導による提出の場合：11月 8日（火）10:00～11月29日（火）17:00

郵送による提出の場合：11月15日（火）～11月29日（火）本部必着



12月

通信指導の添削結果と単位認定試験通知（受験票）

【添削結果の送付時期】：12月末～1月上旬

- ・ 択一式科目（併用式科目の択一部分）1月 6日までに送付
- ・ 記述式科目（併用式科目の記述部分）1月16日までに送付

【単位認定試験通知（受験票）の送付時期】：試験日の約1週間前までに送付

※添削結果と受験票の到着が前後することがあります。



1月

単位認定試験

第2学期単位認定試験についても、1学期に引き続き、Web 受験方式にて実施いたします。

試験期間：令和5年1月17日（火）9:00～25日（水）17:00

【単位認定試験実施方法】

- ・ 自宅等から、インターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・回答提出を行います。
- ・ 1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）

【自宅等での Web 受験が困難な方】 ※要申請

インターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、自宅等での Web 受験が困難な方は申請されると、「Web 受験方式」の科目の単位認定試験を学習センター等で受験できます。

申請手続

①申請様式 学習センター受験申請書（印刷教材等に同封）
※ 印刷教材の発送がない方の場合「学生生活の葉」等に同封

②申請期間 令和4年10月1日（土）～11月24日（木）必着

③申請宛先 〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行



2022 年度第 2 学期 面接授業について

「不測の事態発生時」の対応について

2022年度第2学期の面接授業は、対面での実施を予定しておりますが、**新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「閉講（中止）」または「Web（Zoom）授業で開講」のいずれかの措置をおこなう可能性があります。**学習センターウェブサイトやシステム WAKABA「学内連絡」への掲示にご注意ください。なお、このような事態が生じた場合、既にご登録済の方については、個別にご連絡いたします。

（不測の事態発生時の対応については、シラバス左下の「実施会場」欄に、「※不測の事態発生時は閉講」または「※不測の事態発生時は Web（Zoom）授業で実施」と表示しています。）

追加登録について

今学期の面接授業で空席がある科目については、一部を除き、それぞれの科目の開講日 1 週間前まで追加登録を受け付けます。**※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、可能な限り郵送での申請をお願いします。**

空席発表	10月15日（土）12時～	学習センターの掲示または学習センター、放送大学のウェブサイトで空席状況を確認できます。
追加登録期間	10月20日（木）から	20日15時以降は、システム WAKABA で空席状況をリアルタイムで確認できます。

追加登録申請方法及び申請に必要なもの

受講したい科目の空席状況を確認のうえ、当該科目を開講する学習センターで、郵送または窓口で申請してください。また、追加登録後は、科目の変更・取消、授業料の返還はできませんのでご注意ください。

※郵送申請の場合（現金書留に限る）
追加登録申請書
学生証のコピー（上記申請書に貼付）
授業料（1科目 5,500円）
返信用封筒（長形3、宛名明記、84円切手添付）

※窓口申請の場合
追加登録申請書
学 生 証
授業料（1科目 5,500円）

注1 「追加登録申請書」は、面接授業時間割表（九州・沖縄ブロック版）冊子巻末付録のほか、放送大学ウェブサイトからダウンロードできます。また、学習センター窓口にも用意してあります。

注2 郵送による申請の方で登録できなかった科目の授業料は、返送にかかる費用を差し引いて返金しますので、あらかじめご了承ください。

※ 20日午前10時の時点で、申請者が空席数を超えた科目について

＜空席数を超えていない科目については先着順です。＞

- ① 受付初日（10月20日（木））午前10時までに来所された方及び郵送での申請の方で、**10月18日（火）**までに学習センターに到着したのものについて抽選を行います。（10/15～10/19の期間は追加登録申請書類を学習センターへお持ちいただいても受付・お預かりはできません。）
- ② 抽選は、午前10時から学習センター会議室で行います。郵送での申請の方は、学習センター事務職員がくじを引きます。
- ③ 抽選の後に来所された方については、抽選に参加された方の登録が終了した後、登録を開始します。



面接授業の追加登録科目一覧



◆追加登録を希望される方へ◆

2022年度第2学期に鹿児島学習センターで開講する面接授業については、居住地等による受講制限は行いません。ただし、以下の事項について留意するようお願いいたします。

- (1) 不測の事態により、対面の授業から Web 授業への切り替え、日程変更、閉講等が生じた場合であっても、交通費・宿泊費は自己負担となります。(キャンセル費用等を補償することはできません。)
- (2) 対面で実施する授業は移動時や受講時に一定のリスクがあります。また、様々な地域からの受講生が集まる可能性があります。このことを十分ご理解のうえ、科目登録するかどうかを各自ご判断ください。
- (3) 鹿児島学習センターでは、引き続き感染防止策※を実施することとしています。あらかじめご了承のうえ、科目登録を行ってください。

※感染防止策の内容については、当センターウェブサイト→学習センターからのお知らせ→【重要】2022年度第2学期鹿児島学習センター開講の面接授業について」をご確認ください。なお、他学習センター開設の面接授業の申込みの可否については、学習センターにより異なりますので、事前にご確認ください。

10月15日(土)～10月21日(金)までに開講する科目及び「建築のカタチを考える」、「近代天皇制から象徴天皇制へ」(奄美会場(Web開催))は、追加登録を行っていません。その他の科目は空席状況をご確認の上、お申込みください。

科目区分	ナンバリング (レベル表示)	科目名	担当講師名	授業日	定員	追加登録受付期限
基盤科目: 外国語	110 (初級)	中国語で話してみよう	寺西 光輝	10月22日(土) 10月23日(日)	24	10月21日(金)☆
導入科目: 社会と産業	220 (中級)	日常生活に役立つ法知識	黒沢 佐和美	10月29日(土) 10月30日(日)	27	10月22日(土)
導入科目: 社会と産業	220 (中級)	発酵食品のひみつ(注1)	高峯 和則	10月29日(土) 10月30日(日)	15	10月22日(土)
導入科目: 人間と文化	220 (中級)	近代天皇制から象徴天皇制へ	茶谷 誠一	11月4日(金) 11月11日(金)	27	10月28日(金)
専門科目: 社会と産業	320 (中級)	鹿児島の地域課題と政策1	西 啓一郎 桑代 毅彦 本田 豊洋 片野田 拓洋	11月5日(土) 11月6日(日)	27	10月29日(土)
専門科目: 心理と教育	320 (中級)	心理学実験2	田爪 宏二	11月12日(土) 11月13日(日)	24	11月5日(土)
導入科目: 生活と福祉	220 (中級)	精神的健康のセルフマネジメント	山下 亜矢子	11月19日(土) 11月20日(日)	24	11月12日(土)
専門科目: 心理と教育	320 (中級)	心理学実験3	有倉 巳幸	11月19日(土) 11月20日(日)	24	11月12日(土)
基盤科目: 外国語	120 (中級)	日常で使える英語表現	山崎 美智子	11月26日(土) 11月27日(日)	24	11月1日(火)★
専門科目: 人間と文化	320 (中級)	宮沢賢治の童話を読む	村瀬 士朗	12月3日(土) 12月4日(日)	27	11月26日(土)
専門科目: 自然と環境	320 (中級)	鹿児島の自然と土砂災害	地頭 蘭 隆	12月3日(土) 12月4日(日)	27	11月26日(土)
導入科目: 社会と産業	220 (中級)	日本経済の概観ー現状と課題ー	石塚 孔信	12月10日(土) 12月11日(日)	27	12月3日(土)
専門科目: 人間と文化	320 (中級)	「人新世」時代のイヌイトの挑戦	大村 敬一	12月13日(火) 12月14日(水)	27	12月6日(火)
導入科目: 自然と環境	220 (中級)	水族館学入門(注2)	佐々木 章 検見崎 温久 久保 信隆	12月17日(土) 12月18日(日)	16	12月7日(水)★
導入科目: 人間と文化	220 (中級)	唐詩へのいざない	高津 孝	12月24日(土) 12月25日(日)	27	12月17日(土)

(注1) 授業の実施会場は、県立奄美図書館です。

(注2) いおワールドかごしま水族館で、体験型の授業を行います。

☆追加登録は、授業初日の前日まで受付けます。
★追加登録期限が、授業初日の1週間前より早まります。



客員教員相談日について

鹿児島学習センターでは、所長と9名の客員教授が学習相談に応じます。日々の学習に関する疑問やお悩みを抱えていませんか？経験豊かな先生方のアドバイスで疑問や悩みが解決したりヒントが得られることと思います。お気軽にご相談ください。

曜日	時間	客員教員名	分野	所属
火	10:00～13:00	モリ タカハル 森 孝晴	英米文学	鹿児島国際大学国際文化研究科教授
	13:30～16:30	シンモリ シュウイチ 新森 修一	情報数理学	鹿児島大学理工学研究科教授
水	13:30～16:30	タカツ タカシ 高津 孝	中国文学	放送大学鹿児島学習センター所長 鹿児島大学名誉教授
木	13:30～16:30	ヤマシタ アヤユキ 山下 亜矢子	精神看護学	鹿児島大学保健学研究科教授
金	10:00～13:00	チャダニ セイイチ 茶谷 誠一	日本近現代史	志学館大学人間関係学部教授
	13:30～16:30	マキザコ ヒュウマ 牧迫 飛雄馬	健康科学 老年学	鹿児島大学保健学研究科教授
土	10:00～13:00	オオツボ ハルヒコ 大坪 治彦	心理学	鹿児島国際大学国際文化学部特任教授 鹿児島大学名誉教授
	13:30～16:30	イシヅカ ヨシノブ 石塚 孔信	経済学	鹿児島大学人文社会科学研究科教授
日	10:00～13:00	ユウクラ ミユキ 有倉 巳幸	心理学	鹿児島大学教職大学院教授
	13:30～16:30	オンジヨウ ミチオ 遠城 道雄	植物栽培学 熱帯農学	鹿児島大学農林水産学研究科教授

- ※ 相談日は変更になる場合がありますので、相談される際は事前に学習センターに確認してください。所長は上記時間以外でも随時相談に応じます。
- ※ 放送大学の科目登録方法などの手続に関する相談は、学習センター事務室へお願いします。

客員教員への相談時間は、原則お一人30分以内です。なお、相談に当たっては、相談希望日、希望教員、相談内容などを記入した『学習相談票』を事前に事務室へ提出して下さい。（『学習相談票』は事務室に用意してあります。また、当センターウェブサイトからダウンロードすることもできます。）

客員教員による「教養セミナー」の案内

客員教員の先生方から、それぞれの専門分野における興味ある話題について、講義形式でやさしくお話しいただきます。第4回は下記の日程で開催します。会場は鹿児島学習センター講義室で、時間は90分程度です。放送大学の学生であれば誰でも気軽に参加できます。参加をご希望の方は、事前に事務室にお申込みください。なお、日程が変更になる場合があります。

オンライン（zoom）で参加を希望する方は、鹿児島学習センターのメールアドレスへお申込みください。

回数	日時	内容	客員教員	定員
第4回教養セミナー	令和5年1月8日（日）14:00～	情報数理学の話題	新森 修一	30

「パソコン活用ゼミ～Excelの活用法～」の 開講について

受講無料

1. 趣旨

パソコンやインターネットの基礎的な操作法を習得している人で、さらにステップアップしたいという方を対象に、表計算ソフト Excel（エクセル）の基本的な活用法を学ぶパソコン活用ゼミを開講します。なお、このゼミは自主的なゼミであり、単位や資格の取得を目的としたものではありません。

2. 受講対象者

放送大学の学生で、次の方を対象とします。

- ①パソコンの基礎的操作法を既に習得していて、表計算ソフト Excel（エクセル）の基本的な活用法を学びたい方
- ②教えてもらおうという受動的な態度ではなく、自ら課題意識をもって学ぼうとする意欲のある方
- ③できるだけ全部の回を受講できる方

3. 担当教員 新森 修一（放送大学鹿児島学習センター客員教授）



4. 日程と学習内容（別表の通り）

11月1日（火）から12月6日（火）まで（11月15日は休み）の全5回、1回の時間は1時間30分です。開催日時や学習内容は別表の通りです。

※コロナウイルス感染状況により、実施日時等を変更する可能性があります。

5. 教室、使用するパソコンとテキスト等の準備

放送大学鹿児島学習センター講義室において、放送大学の学生用ノートパソコンを使用します。OSはWindows10、ソフトはExcel2016です。次のテキストを利用しますので、第1回目のゼミまでに準備（購入）して、予習もしておいてください。また、ファイルのダウンロードや作成したファイルの保存のため、USBメモリ（8GB程度の安価なものでよい）を持参してください。テキスト名：「よくわかる初心者のためのExcel 2019（2021）」、FOM出版、価格：1320円

6. 募集者数と申込先（問合せ先）

募集者数は12名（先着順）です。受講希望者は放送大学鹿児島学習センター事務室にて申込んでください。定員に達し次第申込みを締切ります。申込期間は10月15日（土）～30日（日）です。

（別表）日程と主な学習内容（学習状況に応じて変更されることがあります）

回	日 時	主な学習内容
1	11月 1日（火） 14:00-15:30	オリエンテーション、Excelの基礎知識
2	11月 8日（火） 14:00-15:30	データの入力、オートフィルの操作法
3	11月 22日（火） 14:00-15:30	表の作成、関数と参照方法
4	11月 29日（火） 14:00-15:30	グラフ機能の概要、グラフの作成方法
5	12月 6日（火） 14:00-15:30	データベースの基本的な活用法





図書・視聴学習室からのお知らせ



2022年度新着図書が配架されました。先生方の推薦図書などお手に取ってご覧ください。

推薦図書一部ご紹介



学生サークル活動の紹介

鹿児島学習センターでは、以下の4団体（自主サークル含む）が活動しています。ぜひ、興味のあるサークルに参加して友達を作ってください。

サークルの詳しい活動内容や入会申込等は、学習センター掲示板にてご確認ください。

サークル名	活動日	時間
学生クラブ	随時掲示板で案内	
アメリカ文化研究会	毎週金曜日	14時～17時
パソコンサークル・Smart	毎月第2木曜日	14時～16時
スクエアステップ（スマイル・ステップ）	毎週火曜日	14時～16時

※放送大学では、サークルを設立することができます。サークルの設立には、提出いただく書類や設立の条件等があります。詳しくは事務室にお問合せください。

学生サークル「アメリカ文化研究会」より、活動の紹介

私たちアメリカ文化研究会は、9月13日県立高校の新任外国語指導助手の研修会で、「日本文化紹介・茶道体験」のボランティア活動をしてきました。茶道師範の会員を中心に、パワーポイントでまとめた茶道の歴史・精神を英語で話し、お点前を実演し、作法を伝授しながら、参加者に鹿児島の菓子や抹茶を楽しんでもらいました。

10月の公開講座のお知らせ

聴講無料

日時	場所	テーマ・講師	定員
10月30日(日) 13:00～14:30	鹿児島県立奄美図書館 (第1研修室)	テーマ/奄美特産の発酵食品(ミキ・なり味噌) 講師/高峯 和則 鹿児島大学学術研究院農学系教授	30名

※鹿児島県立奄美図書館で実施する面接授業2日目の3時限目は、放送大学学生及び一般の方々を対象とした公開講座として実施します。

※詳しくは、鹿児島学習センターウェブサイトまたはチラシでお知らせします。

学生証の交付について



令和4年度10月入学生の方および全科履修生で学生証の有効期限が切れた方は、鹿児島学習センター窓口で交付を行っております。

【交付・更新時に必要なもの】

- ・今学期入学者・・・入学許可書（継続入学者は旧学生証でも可）
 - ・全科履修生で有効期限切れの方・・・旧学生証
- 学習センター利用時などに必要です。必ず学生証の交付を受けてください。

学生証の有効期限を確認しましょう。



郵送での学生証受取りを希望される方は、同封されています「学生証の交付についてのお知らせ」をよく読んで、**必要な書類等を揃えて鹿児島学習センターへ郵送してください。**

忘年会中止、意見交換会書面開催のお知らせ

忘年会及び意見交換会の開催につきましては、現在もコロナ禍にあり感染者の発生が多く、学生皆様の感染防止・安全・健康のため、今年も中止することとしました。開催を楽しみにしていた学生さんも大勢おられると思いますが、ご理解の程何卒よろしくお願いたします。なお、意見交換会は書面での開催とし、学習センターの運営等に対するご意見やご希望等がございましたら、メール等により12月18日（日）までに学習センター宛てお寄せください。お寄せいただきました方へは、後日回答いたします。

新旧職員の挨拶

— よろしくお願いたします —

教務担当：大重 弥生

この度、ご縁いただき再度、放送大学で勤務させていただくことになりました。

私が以前勤めていた時は、コロナ蔓延前だったので、様々な事が変わっていると思いますが、少しでも早く仕事に慣れ、皆様のお手伝いができるように頑張ります。どうぞ、よろしくお願いたします。



教務担当：春口 利恵

10月から鹿児島学習センターで勤務することになりました。積極的に学ぶ意欲のある皆さまが、充実した時間を過ごせるように、微力ながら精一杯頑張らせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



— お世話になりました —

教務担当：岡野 美幸

あっという間の五年間でした。皆様ありがとうございました。

教務担当：中島 寛子

この度、9月末で退職いたしました。思えば、目標に向かい、熱心に学ぶ学生の皆様から影響を受け、励まされながら駆け抜けた5年間でした。退職いたしますが、今後も目標に向かい、学び続ける皆様に応援しています。5年間ありがとうございました。

図書・視聴学習室担当：松下 春江

この度、7月末にて退職いたしました。「学び」は誰にでも等しくあるもの。楽しみ、喜び、時には苦しみも味わいながら、またその先へチャレンジしていく。ひたむきな努力を続ける学生さん方と接する事のできた5年間は、貴重な経験となりました。自分のための学びを続ける姿はとても素敵で、たくさんの刺激を頂きました。感謝の気持ちを込めて、ありがとうございました。



職員紹介

所長	高津 孝
事務長	上林山 礼美
総務担当	四郎園 修一
広報担当	今村 孝一郎
教務担当	有村 知子
//	大重 弥生
//	春口 利恵
図書・視聴学習室担当	西之園 美穂
奄美再視聴室長	徳永 ますみ

今後のスケジュール



10 October						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

【10月の予定】

- 1日 大学院修士全科生・博士修士全科生入学試験
- 2日 公開講演会
- 11日 閉所日（県民交流センター休館日）
- 15日 面接授業空席発表
- 20日 面接授業追加登録受付開始

面接授業

- 15日（土）・16日（日）「画像記号による計算機操作の基礎」
「心理アセスメントの基礎」
- 21日（金）・28日（金）「認知症と高齢者のこころの病気」
- 22日（土）・23日（日）「中国語で話してみよう」
「建築のカタチを考える」
- 29日（土）・30日（日）「日常生活に役立つ法知識」
「発酵食品のひみつ」（奄美会場）



11 November						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

【11月の予定】

- 3日 閉所日（文化の日）
- 8日 Web 通信指導受付開始（10：00～11/29 17:00）
- 15日 通信指導郵送受付開始（～11/29 本部必着）
- 23日 閉所日（勤労感謝の日）
- 26日 令和5年度第1学期（4月入学生）出願受付開始

面接授業

- 4日（金）・11日（金）「近代天皇制から象徴天皇制へ」（遠隔授業）
- 5日（土）・6日（日）「鹿児島県の地域課題と政策1」
- 12日（土）・13日（日）「心理学実験2」
- 19日（土）・20日（日）「精神的健康のセルフマネジメント」
「心理学実験3」
- 26日（土）・27日（日）「日常で使える英語表現」



12 December						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

【12月の予定】

- 29日～1月4日 閉所日（年末・年始休日）

面接授業

- 3日（土）・4日（日）「宮沢賢治の童話を読む」
「鹿児島の自然と土砂災害」
- 10日（土）・11日（日）「日本経済の概観—現状と課題—」
- 13日（火）・14日（水）「『新人世』時代のイヌイトの挑戦」
- 17日（土）・18日（日）「水族館学入門」
- 24日（土）・25日（日）「唐詩へのいざない」

閉所日 ○ 面接授業



かいこうず

鹿児島県の県木で、強烈な赤い花弁と緑の葉が鮮やかなコントラストをみせる。鹿児島学習センターの学生が、深紅の情熱で勉学にチャレンジする様を想い、機関誌のタイトルとしています。